

総務経営常任委員会 摘 録

1. 開 催 日 令和8年5月22日（金） 第2委員会室
2. 出席委員 五島誠委員長 松本みのり副委員長 谷口隆明 横路政之 堀井慎一郎 桜田亮太
3. 欠席委員 なし
4. 事務局職員 佐々木基議会事務局主任主事
5. 説 明 員 なし
6. 傍 聴 者 なし
7. 会議に付した事件
 - 1 閉会中の継続調査について
 - 2 その他

午前10時02分 開 議

○五島誠委員長 ただいまより総務経営常任委員会を開会します。ただいまの出席委員は6名です。よって直ちに本日の会議を開きます。本日の会議において傍聴、写真撮影、録音、録画を許可しています。

1. 閉会中の継続調査について

○五島誠委員長 この後、午後の日程で調査会を開催しますが、それに先立って今後の常任委員会の閉会中の継続調査について、どのようなスケジュールリングでいくかを皆さんと一緒に協議できればと思っていますので、よろしくお願いします。それではまず閉会中の継続調査のうち、働き方改革について。こちらについては昨年度から引き続いて行っています。基本的には約半年に1回程度状況確認をしていくというところにとどめていると思いますが、本年度もそうした形でしていければと思います。次回は8月ぐらい、決算審査の前あたりに、昨年度と本年度始まってからの状況確認ができればと思いますが、皆さんから御意見ありましたら伺いたいと思います。よろしいですか。それではそのように本年度も進めたいと思います。続いて、公契約条例については、昨年3月に皆さんの御協力をいただきまして、中間報告という形で取りまとめを行ったところですが、執行者は執行者のほうでお考えがあるようでして、正確に言えば、我々が中間報告をする前に既にもう本年度の新しい変更点があったところです。本委員会としましては、中間報告をした後に本年度状況が変わってどうなっているのかについて確認していきながら、最終の報告をしていく必要があると、委員長としては考えます。皆さんから御意見ありましたら伺いたいと思います。よろしいですか。横路委員。

○横路政之委員 もう1年継続するということですか。

○五島誠委員長 皆さんから異論がなければ、この件については引き続き継続調査事項に上げて、都度、状況を確認しながら行っていく必要があると思っています。担当者も代わったりしていますので、どのタイミングがいいかは課長とも話をしながら、状況確認を行う機会は持ちたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。最後に3つ目が財政運営について。昨年度は行政視察にも行ったり、財

政運営ということでもかなりざっくりと広い範囲で、特に、なかなか厳しい財政状況の中でどのように持続可能性を持っていくかというのが大きなテーマでありますので、本年度も継続して行っていこうと思います。今、行政経営改革大綱の審議会がクライマックスといいますか、7月には答申が出されるのかなというスケジューリングになっておりまして、議論も大詰めを迎えている状況です。それを受けて、今度は財政課で新しい持続可能な財政運営プランをつくるので、そこに向けて我々委員会としてもしっかりと調査を加速していかなければいけないなと思っています。皆さんからどう調査していくか御意見ありましたら伺いしたいと思っています。いかがでしょうか。副委員長。

○松本みのり副委員長　財政運営については、本当に何もしなければ財政はよくなるという話をよく勉強会等でもしていただくのですが、そうではなく、まちづくりをしっかりとしながらでも財政も整えていくというところで見えていかなければならないと思っています。委員長が言われたように、行政経営改革大綱が大詰めということで、もう本当に開かれた会議をしてくださって、資料もホームページに随時載せてくださっている状況です。行政経営改革大綱をつくるに当たっての資料の中で、庄原市の1人当たりの物件費が県内で1番高いという数字を載せてくださったり、1人当たりの補助費もそうですし、あと公共施設の維持管理への備えが500万円しかありませんというところも出てきたりする。私はもう少し議会としても、具体的にここをやったらいいいという、縮充、施設等充実させながらも賢く縮んでいこうという話を12月、3月議会でもいろいろな議員が取り上げてくださっているの、縮充について、先進的にされているところについて勉強しながら、庄原市でも提言できるところを考えていけたらいいと思っていますが、いかがでしょう。

○五島誠委員長　今、副委員長から、縮充の考え方について勉強会を持ってはどうかと御意見ありましたけれども、皆さん、いかがでしょうか。これについては横路委員も一般質問等でされていたので、御意見があればどうぞ。

○横路政之委員　悪い提案ではないですね。当たり前のことだと思うので、そうはいっても委員会として調査する限りは、方向性をどう出していくかというのが少し難しいが、やらないといけないういと思っています。やるのなら、そこら辺はやりながら委員の皆さんにも聞きながらという感じでいけばと思います。

○五島誠委員長　ほかはどうでしょうか。桜田委員。

○桜田亮太委員　横路委員が言われたような内容にはなると思うのですが、縮充の中でも何をテーマにしていくかというのは大事なところだと思うのです。一つ、先ほど言われた公共施設も計画があると思うので、そこをこの委員会が所管であれば、テーマとしてあげてもいいと思います。

○松本みのり副委員長　考えているのは、施設を充実させるときの、こういったところに気をつけないといけないという留意点をまとめるとか。あと、それぞれ旧市町ごとがいいのか、住民の皆さんにどういったまちの機能を残していきたいのかというところをお話いただく機会を持つというのも、今までなかなかそういった話をする場が、町によってはあったかもしれないのですが、ないところもあったのではないかと思いますので、そういった住民の声を私たちが集約をするというのも一つの考えかと思っています。

○五島誠委員長　桜田委員。

○桜田亮太委員　それは委員会として、自治振興区が対象なのか、どういった団体の方が対象なのか分かりませんが、そういうヒアリング調査をするということでしょうか。

○五島誠委員長 横路委員。

○横路政之委員 ここでそれに特化して議論しないといけないと思う。今は方向性だけを決めているでしょう。やるのなら、もう一重踏み込んだやり方をしていかなないと。言うは易し、行うは相当難しいという大きな問題だから。軽々にパパッと楽なところだけでも整理がつかなくなってくるのも問題であるし。

○五島誠委員長 堀井委員。

○堀井慎一郎委員 今までは企画が所管をしていたと思うのですが、公共施設の管理計画、個別計画にもある程度、どの施設を今後どうしていくというのは載っているものがあります。廃止をしていくとか、修繕をしながら使っていくとか方向性がある程度出ているものはありますので、その辺り、感覚としては、その計画に沿って何かが進んでいるという状況ではなかなかないのかなという思いがあります。今、所管がどこになっているのか分からないのですが、もし機会があれば、担当課からその計画に沿って今後どう思っているのか聞く機会があってもいいのかなと。

○五島誠委員長 谷口委員。

○谷口隆明委員 縮充という視点で今後、ということの根底にあるのは行政経営改革とか財政運営プランで、その辺も含めて今後は考えていかないけないと思う。そういう観点で、今の新しい財政運営のプラン等を議会として見ていくという方向のほうが入りやすいのではないかな。それと、縮充ということあまり強調し過ぎず、住民の福祉の増進という地方自治体の目的をしっかり維持しながら、今の公共施設とかそういう本当に見直すべきところを見直すという観点でやっていけばいいのではないかなと私は思います。

○五島誠委員長 少しまとめますと、基本的には、まずは既に計画があるもの、あるいはつくられようとしています持続可能な財政運営プランの基本方針が、もう間もなく審議会でもリリースされるということですので、そうしたものを受けながら、担当課からも話を聞きながら、今後どうしていくか検討していく必要があると思います。そうした視点を持って…財政運営については全部なのですね。全部であって、大きなものとして今は行政経営改革大綱がつけられるところがあるので、そこに基本的に全部かかってくる話になってきます。そちらを注視しながら都度、調査をしていく必要があると思います。またこの後お話をしようと思っていたのですが、継続調査事項の中で今回委員会の所管が変わって、本委員会は名前も変わって、経営戦略部ですか、旧企画関係につきましてこちらの所管になって所管事項が増えています。この後の調査会でどういった事業があるかをしっかり確認して、うちの所管が何であるのかということを確認いただいて、場合によっては、この6月議会で、閉会中の継続調査事項を増やすとか、1つ2つ事項を作っていくということもやぶさかではないのかなと思っています。そうした観点でこの後の調査会に臨んでいただければと思っています。またもう1点、本年度の行政視察をどうしていくのか。委員長としましては昨年度お話ししたのですが、早い時期に霞が関に行きたいと思っています。執行者もPFSを取り入れるということで、これは内閣府にPFS推進室が数年前から設けられておりまして、それは何かということも正直あるので、しっかりと国の考え方も含めて、どのようなものなのかということをもっと調べたいなという思いがあります。6月議会の委員会のときに、この行政視察については、決めていきたいと思っています。内閣府にだけ行くのではもったいないので、ほかにも参考になりそうな自治体等々、関東近郊で少し調査をさせていただいて、皆さんからも御提案いただければと思っています。次回は基本的

には6月9日に委員会を開催したいと思っていますので、この日までにこの行政視察をどうするかというところを、皆さんで少し御検討いただきたいなと思っています。PFS、ペイフォーサクセス、成果連動型契約みたいなものです。契約の在り方。PFIを国が力を入れて進めようとしていた時期もあったと思うのですが、今度はPFSを推進していますので、いずれにしても民間の力をしっかりと活用してということにはなるのですが。

○横路政之委員 内閣府から関連推奨自治体は紹介してもらえるのか。

○五島誠委員長 ちなみに安芸高田市はもう既に取り入れようとされています。庄原市も以前に健康診断のがん検診で、広島県と一緒にやってやった事例はあるのですが、庄原市が主体的にやったというわけではないので、経験として落とし込めているところまではいっていない。ただ取り入れると行政経営改革大綱でうたっていますし、執行者もそう言われますので、いずれにしてもこれをやっていかないといけない部分です。はっきり言って私自身もよく分かっていないので、内閣府の中に推進室がありますので、まずはどんなものかを内閣府に聞いてみるといったところで、1つは候補としてどうかと思っています。霞が関に限らず、近くで、せっかくなので1泊2日程度で検討させていただければなと思っています。皆さんからもここはどうかというところがありましたら、よろしく願います。あわせて今日の財政運営については、もう少し具体的にになりますけれども、多岐にわたる部分のどこにフォーカスを当てるかについては、この後の調査会も含めて、6月9日に決定していきたいなと思っていますので、よろしくお願いします。そのほか皆さんから、これはというところがありましたらお伺いしておきたいと思います。よろしいですか。財政運営に関わるところで、堀井委員から毎年させていただいている、国へ地方財政の意見書を今年も提案したいと受けていますので、暫時休憩をしますので少し皆さんに見ていただければと思います。

午前10時23分 休 憩

午前10時26分 再 開

○五島誠委員長 それでは休憩前に引き続き会議を再開いたします。先ほど休憩間に皆さんに意見書案を配っていただいていますので、提案者の堀井委員から説明いただきまして、検討していきたいと思います。堀井委員。

○堀井慎一郎委員 昨年も6月議会で総務常任委員会として提案しまして、議会として意見書採択をいただいているものになります。地方財政の充実強化に関する意見書ということで、項目はほぼ昨年と同様であります。先ほどの閉会中の継続調査の中でもありましたように財政運営、非常に庄原市も厳しい中で、国からもしっかりと地方に対する財源を確保してくださいという意見書になります。内容的には社会保障ですとか、子育て、地域医療、それから今年度も職員の賃金は人事院勧告で恐らくプラス改定があるであろうということで、その辺りの職員の人件費等についての財源確保、そういったものも昨年に比べて追加したものになっています。それぞれ項目ごとの説明も添付させていただきますので、皆様でお目通しいただきまして、また御議論いただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

○五島誠委員長 それではこの意見書案につきましては、6月9日に委員会を開きますので、そこでしっか

りと検討させていただければと思います。ぜひ皆様にお目通しいただきまして、資料も充実しているようですので、加えるものは加える、逆に減らすものは減らすというところで御検討いただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。それでは、閉会中の継続調査事項についてはこの程度にとどめさせていただきます。

2 その他

○五島誠委員長 その他の項ということで、その他のお持ちの方がいらっしゃれば、お伺いしておきたいと思います。横路委員。

○横路政之委員 核兵器禁止条約の第1回再検討会議がありますが、それにオブザーバー参加を求める意見書を委員会をお願いできれば。正式な文書はまだできていないのですが、日程的にどのようにしていったらいいかを。

○五島誠委員長 そうしましたら、こちらについても本会議が始まった後の委員会で議論をさせていただければと思いますので、6月9日の委員会設定日で検討させていただければと思います。それまでに文言整理をしていただいて、場合によっては先に皆さんに資料提供という形で見せていただいたら、委員会のときの検討がスムーズかと思います。しっかりとした議論につきましては6月9日の委員会のときにさせていただければと思いますので、御準備よろしくお願いいたします。そのほか皆さんから何かございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○五島誠委員長 よろしいですか。それでは次回委員会につきましては6月9日としたいと思います。御参集をよろしくお願いいたします。10時からでよろしくお願いいたします。以上で総務経営常任委員会を閉じさせていただきます。

午前10時31分 散 会

庄原市議会委員会条例第 30 条の規定により、ここに署名する。

総務経営常任委員会

委 員 長